

第5回豊和村づくり協議会報告

2019年1月15日
豊和コミュニティーセンター

<報告事項>

1 テントの購入

○納品完了。「贈 豊和村づくり協議会」の文字を入れて最終的には224,478円

2 ソラシェア収穫祭

○集客数は約800人（昨年約700人）。昨年よりも地元の人が多かった。

○地元の人に配布した金券の使用は約13万円。

○村づくり基金から30万円を補助。

3 豊和地区社会福祉協議会の「ふれあいバスハイク」について

○実施状況については、村づくり通信参照

4 豊葉会のはっぴの作成について

○1月中には完成の予定

5 通信2号の発行

○1000部作製、地区内各戸配布、市役所、公民館、ふれあいパーク等にも置いた。

○銀行などにも置いてもらう。

<協議事項>

1 開畑の犬屋敷跡地とその周辺の清掃活動について

① 実施主体は環境保全会だが、協議会も経費を含めて協力する。

② 実施日は、2月24日（日）8時～11時。小・中学生は10～11時

③ 回覧板での呼びかけ、周知を行う。

④ 環境保全活動への協力と移住者と地元住民との交流を目的として取り組む。

○終了後に昼食・交流の場を持つ。飯塚区民館を予定。

○昼食・交流会の費用を村づくり基金で負担する。1人500円～600円位。

⑤ 環境保全の体験学習として小学生（5、6年生）にも参加を呼び掛ける

○小学校を通じて呼びかける。学校とも相談して行う。

○中学生も含めて呼びかけることとし、具体的には回覧板での周知で行う。

○参加者には、文具券などを支給・・・環境保全会の経費で可能

⑥ 移住者や地区外への働きかけ

○SOSAプロジェクト等へ協力要請

○移住者を中心に呼びかけるが、地域外の参加も可とする。

○ホームページ等での周知、呼びかけも行う。

2 あらたな要請等について

- 現在の基金残高は、収穫祭への支出を引いて約65万円。さらに、年度内に6設備からの35万円の基金拠出見込み。
- 新たな要望については、現時点は特に出していない。
- 基金の存在があまり知られていないので、周知をしていく。

3 4月以降のメンバーについて

- 区長と青少年相談員、PTA会長が交代になることで変更になる。事務局からもお願いはするが、引き継いでもらうようお願いします。

4 総会について

- 4月14日13時
- 場所 豊和コミュニティーセンター
- 議事内容
 - ① 基金の使用内容の承認
 - ② 新たな参加団体、個人の承認
 - ③ 役員を選出
 - ④ その他

4 今後の基金の活用についてフリーで話合いました。そこで出された意見です。継続して検討して行くことになりました。

- 来年、乃至再来年の基金規模は320万～350万の見込み
- 継続的に取り組まれるものについては予算化も必要ではないか
 - *収穫祭、豊和地区社協の「ふれあいバスハイク」、「ホテルを愛でる会」(SOSAプロジェクト)などがあるのでは。
- 当面は物品の購入への支援が多くなるのはやむを得ないとしても、長期的には地域での自主的な活動への支援に軸足を移していくことが必要ではないか。→→とはいっても、自主的な活動が、以前は少年野球やミニバスがあったが、今は殆どない。
- 豊和への移住者が家を購入、賃借や補修する場合に補助金を出す等、移住者のへの支援を検討してはどうか
- 中長期的な課題として、地域のための活動を行おうとしている事業への支援する仕組み、基金を作ってはどうか? →→独居高齢者世帯への買い物サービスへの支援なども考えられるのではないか
 - Ex: 事業立ち上げのための資金を貸与、経営が安定したら基金に協力をしてもらう。
- 移住者と地元の人との交流の場を協議会として持ってはどうか。
- 小学校の入学児童にお祝い金(支援金)をだしてはどうかという意見もあったが、趣旨から少しずれるのではという慎重論が出て、保留となった。

(参考:規約抜粋)

第2条 基金は前条の目的を踏まえ、以下のために使用することとし、具体的には協議会で協議して決める。

- ①飯塚開畑地区をはじめとする豊和地区の耕作放棄地の解消や農地と環境の保全
- ②地域の振興や活性化、環境保全、子供たちの育成等、地域のために活動している団体等への支援
- ③子供たちの育成に資する活動への支援
- ④新規営農や農村と都会との交流への支援
- ⑤その他、会の目的のために必要なこと